



気象サイエンスカフェ

なぜ寒波はやってくるのか？

冬の天気を左右する大気の流れと着雪の話

「今冬最強寒波」という言葉をニュースで耳にしたことはありませんか？

寒波はどのようにして日本までやってくるのでしょうか。

また、寒波によってもたらされる雪は、私たちの生活にどのような影響を与えるのでしょうか。

本サイエンスカフェでは、地球規模の大気の流れに注目し、北極域やシベリアと日本をつなぐ冬の大循環と、寒波が日本へやってくる仕組みを最新の研究成果を交えながらわかりやすく解説します。

さらに、冬の降雪が物体に付着する「着雪」現象とその予測に向けた研究についても紹介し、

地球規模の大気の流れから身近な雪の現象まで、さまざまなスケールで冬の気象を見つめながら、

冬の気象が社会や暮らしに与える影響を考えます。

寒波の正体を一緒に探ってみましょう。



菅野 湧貴 さん

ゲストスピーカー
電力中央研究所 主任研究員



毛利 亮子 さん

ファシリテーター
国立極地研究所 特任助教
・科学コミュニケーター

日時：2026 年 11 月 29 日（日）14:30 ～ 16:30

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎 | オンライン
〒神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

対象：気象に興味がある方ならどなたでも

定員：会場 30 名 & オンライン 100 名（先着順）

参加費：無料

お問い合わせ：msj-ed_2026@netsoc.or.jp

主催



日本気象学会



日本気象予報士会

共催

協力



REC for NS
research and education center for natural sciences



Arctic Challenge for Sustainability III

お申し込みは
フォームから

